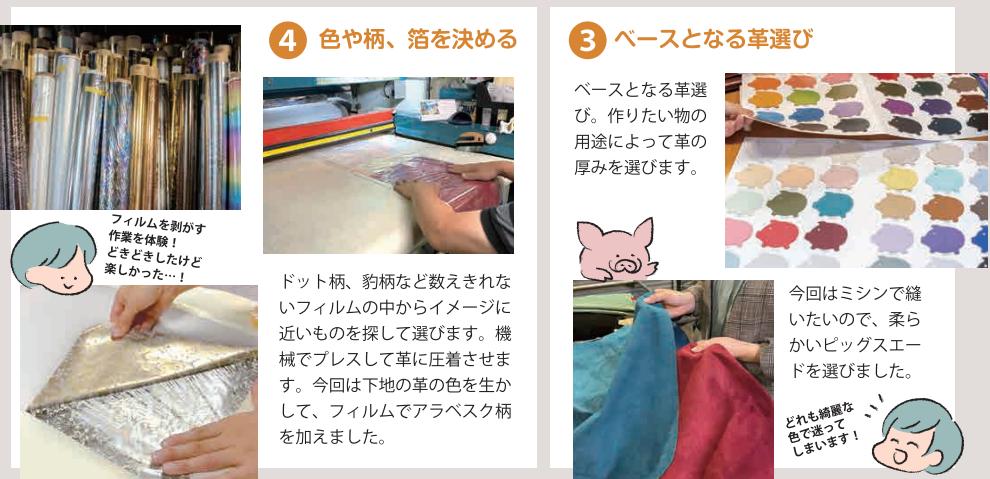


<<革でハンドメイドするときの注意>>

- 元の動物の個体差により大きさや表面が異なる
- お腹の部分はやわらかく、背中は固いなど部位で物性が違う
- 繊維の流れに沿うと強く伸びが小さく、繊維と垂直だと弱く伸びが大きい
- 傷跡についている場合があるので、型で抜く際には注意
- アイロンの熱やスチームで収縮したり、加工フィルムが剥がれことがある
- 薄い革には裂けやすいものがある



1

革のハンドメイドの魅力は?

もの作りを始める事は自分の「好き」を育てる楽しい時間になります。さらに革製品は使っていく内に手に馴染み、温かみを感じる事ができます。それを自分で手作りとした層愛着も湧きますね。厚めの革は木槌と打ち具でトントン叩き、針と糸で手縫いする楽しい工程があり、ビッグスキン等の薄い革は布と同じようにミシンで縫う事ができます。意外にも加工がしやすく手軽に始められ、奥が深い事が魅力です。



2

初心者が最初に作るとしたら?

最初はキー・ホルダー・やボーチ等の日常で使える小物がオススメです。簡単な小物は作りやすく、次の挑戦への意欲も湧いてくるでしょう。いくつか作ってみると販賣通りでは物足りなくなるかもしれません。そんな時は縫い目や飾りを変えてアレンジしてみましょう。きっとより良いオリジナル革小物が出来上がると思います。そんな新しい発見も楽しみのつです。

3

革のハンドメイドの学び方

最近の傾向としては2通り。一つは独学で、もう一つはスクールで通う方法です。現在はインターネット情報や書籍も多く、独りで学ぶ環境が整っています。また、スクールは質問を気軽にできる事が作ります。また、スクールは質問を多くして、講師にすぐ聞ける事が作ります。また、スクールは質問を多くして、講師に直接話し合い、向上できる事が利点です。楽しく続ける方法を選んでみてください。両方を試す事も良いと思います。スクール講師としては迷わず「革教室」と検索してもらいたいところです。



革を使って ハンドメイドを始めよう!

革のハンドメイド教室で教えていた「フクシマユカコ」先生にお話をお聞きしました。



フクシマユカコ
文化女子大学卒業。手縫い革製法の工房にて革の靴作りを学ぶ。東京都立城東職業能力開発センター東分校製くつ科卒業。現在は都内の手縫い革教室で靴や靴製作の講師として活動中。
<https://www.instagram.com/nuitoco>



4

始める前の注意事項~道具の揃える前に

最初にどんなものを作りたいか、又は使ってみたい革を選んでみましょう。例えば「厚い革で手縫い」と「ビッグスキン等の薄い革でミシン縫い」この2通りでも道具が異なります。身近な道具で試す事も良いと思います。カッターやハサミを使つた裁断をしてみて、追々必要に応じて革包子を購入するなど、作りたいものや道具の用途を理解してから揃えるのも良いでしょう。



6

メッセージ

革で作る楽しさに加え、多くの人とのつながりを感じてもらえたらと思います。動物の「皮」が培われた技術により加工され「革」として手元に届くまでは多くの人の働きがあります。そしてどんな道にもあなたの先輩や仲間がいます。もの作りは一人作業になりがちですが、誰かとのつながりを感じると心強いかもしれません。そんな事も片隅に想いながら大切に自分の「好き」を育ててください。



5

始める前の注意事項~音や振動について

皆さんそれぞれの住宅事情で作業音が気になる方もいるかもしれません。トントンと打ち具で穴を開ける音、カタカタ鳴るミシンの振動などがあります。気になる時はテーブルに厚手のフェルトを置いてその上で打ったり、テーブルの足にゴムやシリコンを敷くと軽減できます。生活スタイルに合わせて自身の環境作りをしてみましょう。



ハンドメイド作家や小さなブランドが買やすいネット販売

中村貿易(石居みさお皮革販売代理店)



ビッグスエードを中心に、ビッグヌメ革、エナメル、ゴート、シープなどを取り揃え、1枚から発送しています。
<http://www.abctown.net/>



やさしい革Web Shop



山口産業のラセッターを中心カラーバリエーションも豊富に在庫。
<https://www.y-leather.shop/>



協進エル

革とクラフト材料の販売・教室
<http://www.kyoshin-elle.co.jp/>



アンドレザー

初心者～中級 革の購入
<https://andleather.official.ec/>



浅草革屋フジトウ商事

個人・少量対応
<https://fujitou.co.jp/personal/>



ウェブショップツノダ

がま口の口金や袋物用金具
<http://www.tsunodaweb.shop/>



革素材を探せる展示会

JFW JAPAN CREATION

テキスタイル、ニット、服飾資材、皮革素材などの総合見本市
<https://www.japancreation.com/>



東京レザーフェア

東京、姫路、和歌山などの皮革産地のタンナーや、皮革問屋、靴関係の資材などと一緒に揃う皮革の総合展示会。
<https://tlf.jp/>



革のハンドメイドを学べる教室

レプレ

バッグアーティストスクール
<https://www.bag-artist.jp/>



アトリエフォルマーレ

バッグクラフトマスタースクール
<http://atelier-formare.com/>



gigi-fabbrica

レザーフラフトスクール
<https://gigi-fabbrica.com/school/>



ATELIER K.I.

革小物教室 バッグ教室
<https://atelier-ki.com/school/>



皮革関連の情報

日本皮革産業連合会
皮革業界の情報
<https://www.jlia.or.jp/>



デテログ

革のお手入れとレザーフラフトのブログ
<https://dete-diary.com>



ピッグスキンの種類

革の下地×色×仕上げ組み合わせは無限

下地の革



タンニンなめし

植物の樹皮や葉から抽出したタンニンで革を鞣す。張りとコシがあり、型押し形状が保持されやすい。鞣しに時間がかかり高価。



クロムなめし

広く自然界に存在する三価クロムでなめします。ソフトで軽く伸縮性があり、発色がよい。短時間で製造できてコストも優れています。複数の鞣し方をミックスされることもある。

革に色を付ける



染料染め

透明感のある染料で染色することで革の模様がはっきり浮き出ます。



顔料塗装

表面に顔料を吹き付けて均質に色を塗るのでフラットな表情になる。



手捺染（てなせん）

刷毛や筆、スポンジなどを用いて手で色を付けたり模様を描く。



インクジェット

写真やイラストなどを自由にプリントできる。

表面感を加える



エナメル加工

革表面に樹脂を何層も重ねることで、艶と防水性を与える。



フィルム加工・箔加工

柄が描かれたフィルムや箔を熱と圧力で貼り付ける。工場が保有する多種の中から選んで使える。



スエード

革の裏面をサンドペーパーで起毛。ピッグスエードは毛足が長く、繊維が緻密で滑らかさがある。

後加工（物理的な加工）



パンチング加工

抜き型を使って、連続した穴を開ける。穴によつて柄を表現できる。



エンボス加工（型押し）

彫刻された鉄板を熱と圧力をかけて押し付けることで、立体的な模様を浮き出させる。工場が持つ型の中から選ぶ。



カッティング加工

革を水平に移動させながらナイフのような刃で革に切れ目を入れていく。写真は2方向からカットしたもの。

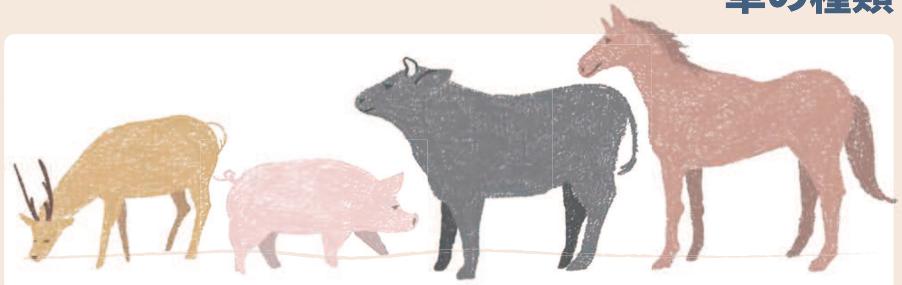
衣料や身の回り品に使われてきた古い歴史があり、人の生活に欠かせないものです。

革の魅力



- ① 天然素材ならではの温かみや表面の美しさ、高級感がある
- ② 動物の動きに対応した皮が原料なので、伸縮性と弾力性がある
- ③ 高温でも燃えにくく溶けないことから防炎素材としても使われる
- ④ 適度な吸湿性と放湿性があるので靴の内側にも使われている
- ⑤ 使い込むほどに深い艶が生まれ手や体に馴染んでくる

革の種類



鹿（Deer skin）

古来から甲冑など武具に使われてきた。しなやかで手袋や印伝の小物などにも使われる。

豚（Pig skin）

国産で自給できる唯一の素材。原皮やなめし革は世界に輸出されている。タンニンなめし豚革を染色し、表面をこすって艶を出した「アメ豚」は高級素材。

牛革（Cattle hide）

あらゆる皮革の中で最もボビュラーで用途がない。仔牛は高級な靴や小物に、成牛は大型の鞄やベルト、衣料などに使われる。

馬（Horse Hide）

牛革よりも厚さは薄く、しなやかで柔軟性がある。お尻の部分のコートバンは緻密で独特な光沢があり珍重され、ランドセル用が有名。



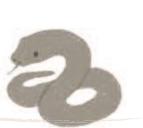
サメ（Shark）

網目状の凸凹によって、スジ状の色の濃淡がある。海の生き物なので水に強い。



ワニ（Crocodile）

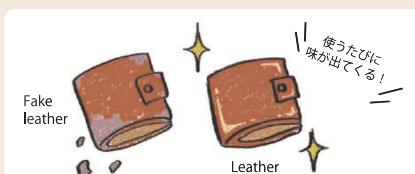
ワイルドで迫力があり、美しい並んだ斑（ふ）を持った高級素材。条約で規制されている革もある。



ヘビ（Snake）

個性的な斑紋や鱗が特長、部位で表情が変わる。小ヘビをスネーク、大型をバイソンと呼ぶ。

合皮・ビーガンレザーは樹脂素材



合皮は繊維にポリウレタンや塩化ビニールなどの合成樹脂を塗って革に似せた人工的なレザーです。軽くて汚れにくく、使いやすいのですが、寿命が短く劣化しやすいのデメリット。使っていても本革のように深みがある艶がでません。ビーガンレザーは廃棄されるような植物原料から繊維を取り出し樹脂で固めた素材。

革は動物の革から作られます

革は動物の皮をもとに作られています。だから生きていたときの「傷（きず）」「シワ」「血管の痕」「虫刺されの痕」「焼印の痕」「色ムラ」などがあります。これらは動物が生きていた証（あかし）です。通常の製品はキズ跡を避け革を裁断しているのでこれらのキズが目立ちません。素材を使い切るためにもこの部分も有効活用したいですね。

